

様式1

平成 31 年度 学校評価表

学校教育目標 美しい木々が健やかに育つ学校〔自律・挑戦・創造・人間性・協栄〕 ～知・徳・体を磨き続け、郷土に誇りを持ち、グローバル社会を生き抜く生徒の育成～	
a ミッション 小中連携を核とした組織的な研究による学力向上 ～国際教育の充実によるコミュニケーション能力の育成～	a ビジョン ・授業改善と積極的な生徒指導。組織的な学校運営を行い、主体性と創意工夫により、質の高い教育を提供できる学校 ・地域連携により人的・物的資源を生かした活動を行うことにより、地域に開かれ、保護者・地域と相互に高め合う安心・安全な学校

尾道市立美木中学校

評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力の育成 コンピテンシー（資質・能力）の育成（基礎・基本の定着と思考力・表現力・意欲の育成）	・学力向上に向けて、校区内小中学校の連携を深化する。	・「資質・能力」の系統表について小中で吟味・検討を繰り返し、9年間で付けたい力を整理する。	・全ての教科で学習指導案に付けたい資質・能力と単元における思考の流れを明記する。	100%	100%	100%	A	・全ての教科で学習指導案に付けたい資質・能力と単元における思考の流れを明記し、主体的な学びをめざして、授業改善を進めている。	○			向上心があり、目標を達成できていると思います。	「書くこと」や「考えさせること」の視点をさらに吟味・検討し、課題の質の向上をめざし、授業改善を推進する。	
	・思考力・判断力・表現力の育成を図る。			・カリキュラム・マネジメントの視点で、単元開発に取り組む。	①100% ②肯定的評価 85%以上	①100% ②肯定的評価 80%	94%		B	・各教科で「書くこと」の質の向上に取り組む、学力調査等で成果が出ている。	○			
豊かな心の育成 自主性・主体性・社会性、自己肯定感の育成	・社会で通用する、時と場に合った所作の育成を図る。	・自ら進んで気持ちのよいあいさつができるように指導する。また、学校並びに社会のルールを遵守するよう指導する。	・生徒、保護者、教職員のアンケート ①「進んで気持ちのよいあいさつをしている」 ②「学校や社会のルールを守っている」 ③「敬語を適切に使うことができる」「ゴミを進んで拾っている」	肯定的評価 ①90%以上 ②90%以上 ③80%以上	肯定的評価 ①91% ②95% ③80%	①101% ②106% ③100%	A	「あいさつ」は学校の特色の一つとして、生徒が意識しており、地域・保護者から褒められることが多い。	○			あいさつがきちんと出来ていて、素晴らしいと思います。	敬語を適切に使ったり、ゴミを進んで捨ったりすることについて、生徒のアンケート結果と保護者・教職員のアンケート結果に差がある。その意義等についても引き続き指導を続け、自分から動くことができるよう取組を進める。	
	・自主的・主体的な活動を通して、自己肯定感を高め、向上心の育成を図る。			・リーダーを育て、各行事を生徒主体で取り組ませる。 ・生徒の望ましい行動を評価し、短学活・集会・各たより等で生徒に伝えていく。	・生徒アンケート ①「自分の良いところと言える」 ②「自分の良さが周りの人たちに認められていると思う」	肯定的評価 ①と②の平均 65%以上	肯定的評価 68%		105%	A	3年生を中心に、生徒が主体となって活動することが引き継がれている。よいリーダーのイメージを持って意欲的に行事等に全校で取り組んでいる。			○
業務改善 働き方改革	・業務改善により生徒と向き合う時間を創出するとともに、教職員の健康増進を図る。	・定めた部活動休業日を確実に実施する。 ・時間外勤務が減少するように、意識改革と早期退行に努める。	・部活動を週休2日とする。 ・水曜日は6時に閉校する。	100% 43%	100% 43%	72%	C	部活動を週休2日とすることは、定着した。さらに、水曜日の6時間校を徹底していく。	○			先生方の負担が減って良いことだと思います。	6時間校の実施に向け、教員の職務進捗を把握し、業務を具体的にスクラップしていく。	

【自己評価 評価】
 A：100≦（目標達成）
 C：60≦（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100
 D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。